

**【事務事業調査】**

事務事業名	元気あっぷマラソン大会交付金	予算科目コード	会計-款-項-目-事業 001-10-05-01-0003-01-03-0
担当部課	教育部 生涯学習課	担当係長	スポーツ係 野澤 威
		事業の分類	既存事業

**■事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H23 事後評価 ◆平成23年度は東日本大震災の影響により大会を中止しました。	◆町内のランナーをはじめ、県内外からも多くの参加者を得て、全国規模(日本陸上連盟公認コース)の大会を開催することができます。 ※県内公認コース⇒マラソン:大田原、ハーフマラソン:高根沢 以上2コースのみ ◆町民のスポーツに関する意識の高揚につながります。 ◆町のイメージアップや地場産業の振興活性化につながります。 ◆多くの町民や町内企業等の協力により運営することにより、活力ある町づくりにつながります。
	H25 事前評価 ◆高根沢町元気あっぷハーフマラソン大会兼長距離走大会の大会運営のために、財政的な支援を行います。	
実績		

**■活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
大会参加者数	2,000人		第36回(H20)1,638名(うち町内410名25%→小中学生335名40%、一般・ハーフ75名9%) 第37回(H21)2,132名(うち町内461名22%→小中学生370名41%、一般・ハーフ91名7%) 第38回(H22)2,094名(うち町内437名21%→小中学生351名39%、一般・ハーフ86名7%) 第39回(H23)東日本大震災により休止 第40回(H24)実施決定→種目等内容を一部変更

**■事業費(計画)**

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	積 算 根 拠
1	交付金	2,000	◆大会運営費 ◆H24(40th)と同額計上
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		2,000	

**■事業費(実績)**

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		0	

**■事業経費**

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	2,000		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	2,000		

■補助金等名:元氣あっぷマラソン大会兼長距離走大会交付金

■補助事業者等:元氣あっぷマラソン大会兼長距離走大会実行委員会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというあてはまる:3点
- (4)どちらかというあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	5	町内外から参加者を募り、健康の保持と体力増進を図るとともに、生涯スポーツの振興に大きく寄与しています。また、栃木県唯一の日本陸連公認ハーフマラソンコースの大会ということで、県外からの参加者も年々増加し、高根沢町のイメージアップにもつながっています。
		■町全体に波及効果が期待できる。	5	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	4	生涯スポーツの中でも近年「走る」ことが、手軽にできる健康づくりやスポーツとして位置づけられ、ランニングをする方や市民ランナーが増加している状況にあります。その中で、全国規模の公認コースの大会を本町で開催することにより、大会参加の動機付けや機会の提供となります。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	5	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	公認コースの大会であり、本大会の組織が最も適しています。また、町民にもスポーツに関する意識の高揚及び、参加の動機付けとなります。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	4	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	4	年々参加者が増加しており、毎年継続して参加する選手も多く、満足度の高い大会になりつつあります。また、町外からの参加者も多いことから、町の産業・観光・企業を町内外にPRできる場としても大いに活用できる大会です。
		■予算の見積が適正である。	4	
5	適格性	■実施体制が明確である。	5	栃木陸上競技協会、塩谷陸上クラブ、町体育協会陸上部を中心として、多くの競技役員の協力により、高根沢町の最も大きな生涯スポーツの大会として認識されています。また、大会運営についての協力体制が整っており、H24は町内企業スタッフとしての協力も期待できることから、今後も長く継続して実施していきたいです。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	5	
合計点数		46		
総合評価		継続		